

The image shows the exterior of a large, modern building, identified as the Iyodo Bank. The building has a light-colored facade with many windows. In the foreground, there is a street with a tram track and a tram. A semi-transparent text box is overlaid on the center of the image, containing the event title in Japanese. The text is in a stylized, bold font with a drop shadow effect.

第6回 伊予銀行決算説明会
&
特別講演会



伊予銀行の概況

伊予銀行のプロフィール

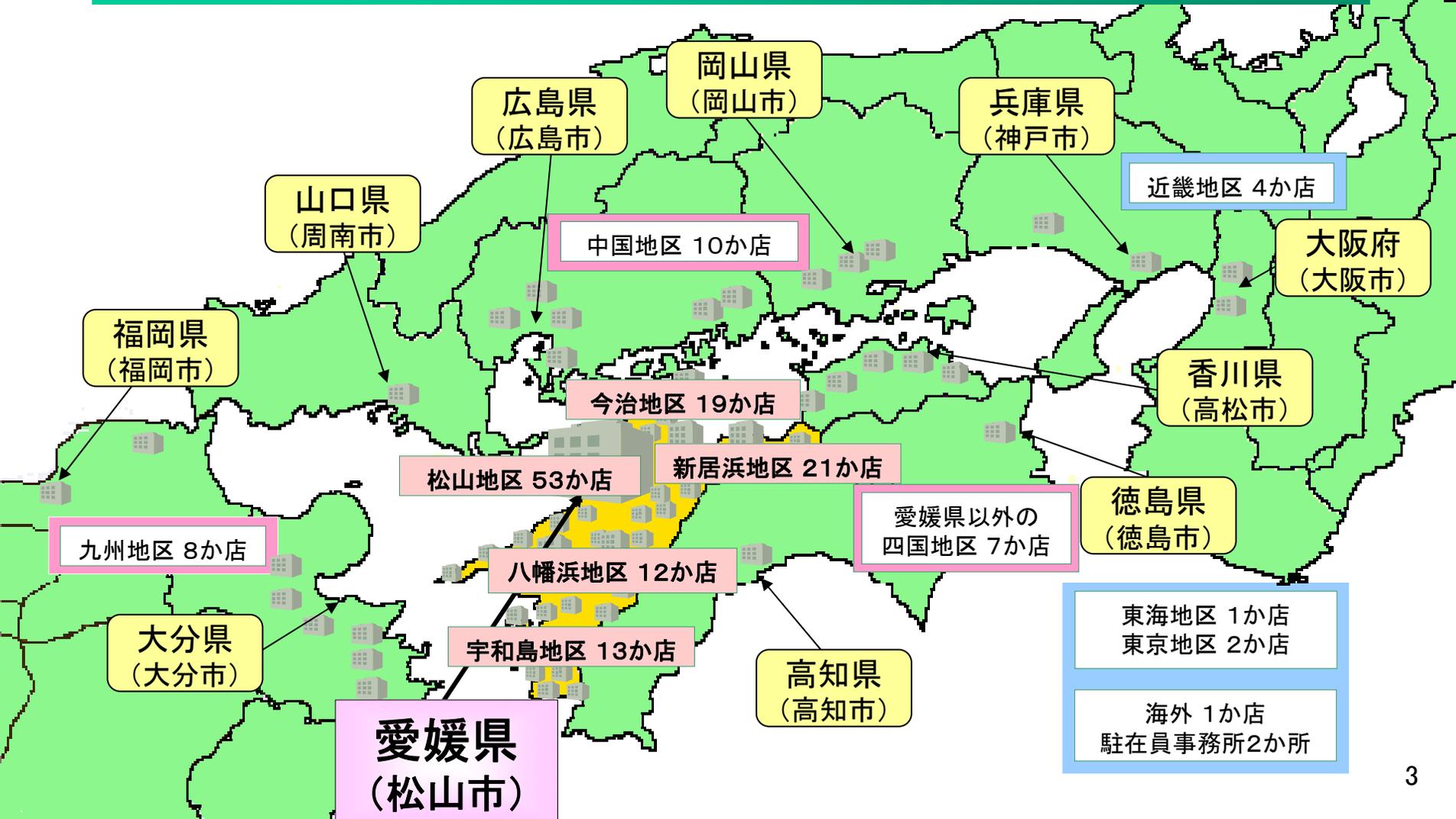
本店所在地	愛媛県松山市	
創業	明治11年3月15日(第二十九国立銀行設立)	
創立	昭和16年9月1日	
資本金	209億円(発行済株式総数 323,775千株)	
従業員数	役員 20人、職員 2,744人(パートタイマーを除く)	
拠点数	国内 150か店(出張所7を含む)、海外1か店(香港)	
	13都府県に店舗ネットワークを展開 (愛媛県118か店、大分県・広島県各6か店、香川県5か店、その他15か店)	
	駐在員事務所2か所(ニューヨーク、上海)	
主要勘定等	預金等(預金+譲渡性預金)	4兆 1,154億円
	貸出金	3兆 421億円
	総資産	4兆 7,089億円
	純資産	3,702億円

連結自己資本比率(国際統一基準)	12.16%
連結子会社数	12社
連結従業員数 職員 (パートタイマーを除く)	2,941人

(※計数は平成18年3月末現在)

伊予銀行の経営基盤

● 瀬戸内圏域＋東京・近畿・名古屋に店舗配置
地銀No.1の店舗ネットワーク(13都府県)



伊予銀行の経営指標の特性



皆さまにご安心いただける健全性の高さが特長です

健全性

有価証券含み益(連結)

当行実績：2,005億円
地銀平均：575億円

不良債権比率 (金融再生法)

当行実績：2.49%
地銀平均：4.71%

ROA (コア業務純益/総資産)

当行実績：0.72%
地銀平均：0.66%

収益性

ROE(注)

当行実績：7.92%
地銀平均：6.10%

預金等平残増加率(14年度比)

当行実績：6.57%
地銀平均：3.44%

成長性

貸出金平残増加率(14年度比)

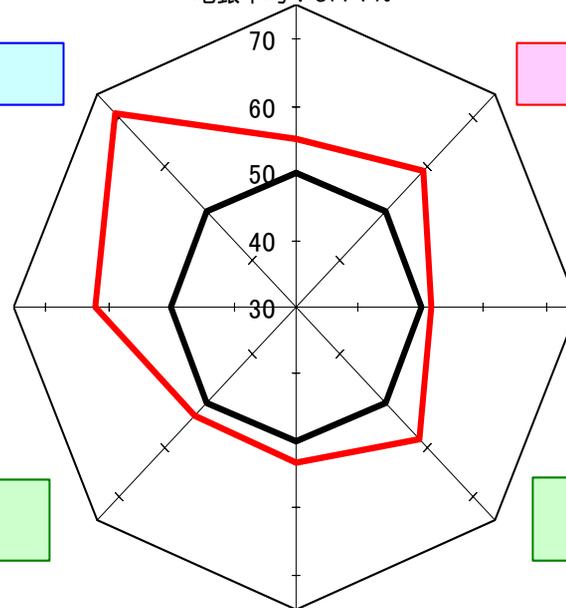
当行実績：7.50%
地銀平均：0.85%

コア業務粗利益増加率(14年度比)

当行実績：3.63%
地銀平均：2.42%

OHR (経費/コア業務粗利益)

当行実績：57.01%
地銀平均：63.50%



地銀平均に対する偏差値

— 地銀平均=50

— 当行

平成 17 年度決算の特色

● コア業務純益・経常利益・当期純利益ともに過去最高

預金等残高 4兆1,154億円、年間増加額 1,609億円、増加率 +4.1%
 ~4兆円の大台を突破し、順調に増加~

貸出金残高 3兆 421億円、年間増加額 1,639億円、増加率 +5.7%
 ~3兆円の大台を突破、事業性貸出金が増加基調に~

信用コスト 36億円と大きく減少 ~17年3月期比▲25億円~

年間配当を1円増配、18年度中間期創立65周年記念配当50銭予定

● 高い安全性・健全性を示す諸指標

R&I格付
AA-(安定的)

地銀
トップクラス

不良債権比率は2.49%まで低下
 ~17年3月期比▲0.79ポイント~

自己資本比率(国際統一基準・連結)は12.16%
 ~17年3月期比+0.26ポイント~

有価証券評価益は1,968億円
 ~17年3月期比+674億円~

2003年度中期経営計画 数値目標達成状況

~ Challenge 357 ~

<平成15年4月~平成18年3月>



おかげさまで

3年間の中期経営計画をすべて達成いたしました

	15/3	16/3	17/3	18/3 実績	18/3 目標
コア業務純益	291億円	306億円	315億円	336億円	320億円 以上
不良債権比率	4.82%	4.43%	3.28%	2.49%	3%以下
OHR比率	61.4%	59.3%	58.7%	57.0%	50%台
ROE比率	0.78%	5.27%	7.86%	7.92%	7%以上

(注)OHR比率 … 経費／業務粗利益×100(※ 業務粗利益は、国債等関係損益を除く)

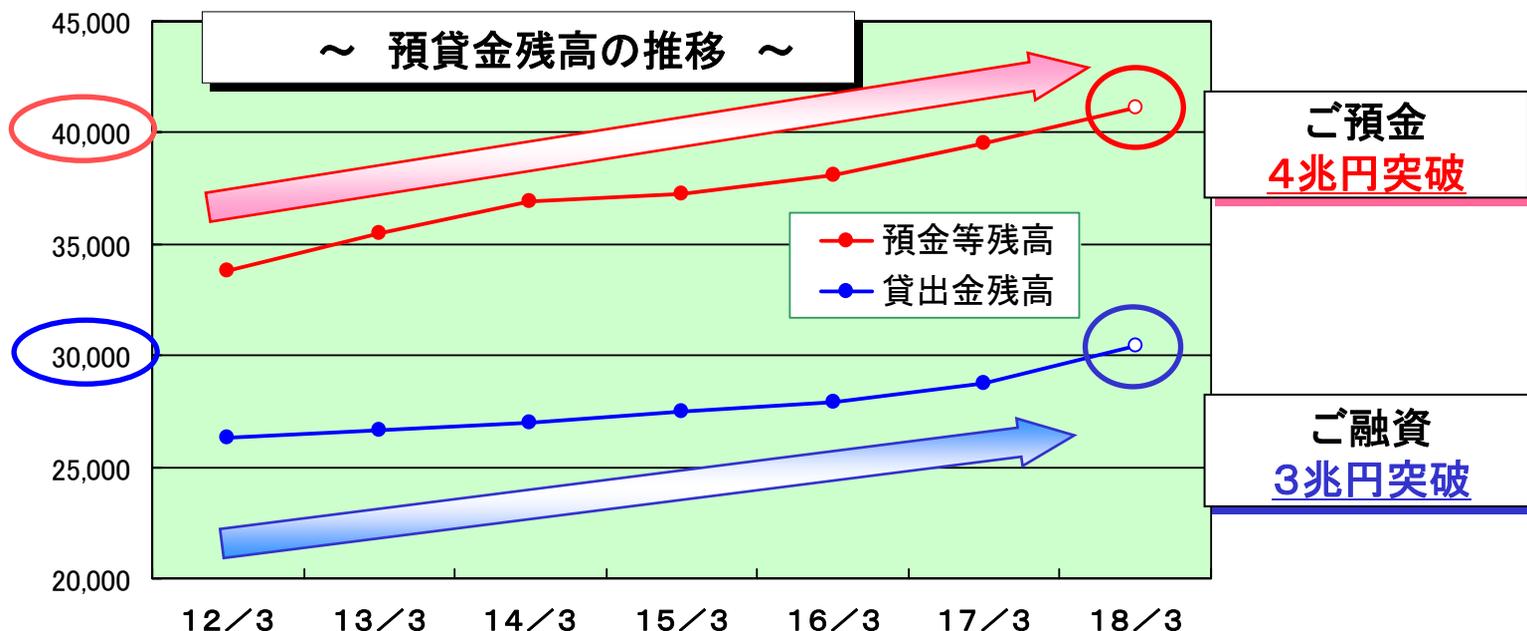
ROE比率 … 当期純利益／期首・期末平均自己資本(除くその他有価証券評価差額金)×100
(株主資本から株式等の含み益を除いたベース)

A wide-angle photograph of a large suspension bridge, likely the Akashi Kaikyo Bridge, spanning a deep blue body of water. The bridge features two massive white towers with rectangular openings, connected by thick cables. The bridge deck is multi-lane and carries traffic. In the background, there are green hills and a clear blue sky. A small boat is visible on the water in the foreground.

平成17年度決算状況

預貸金残高の状況

- おかげさまで残高は9年連続の増加となりました
- ご預金は4兆円、ご融資は3兆円の大台を突破



< 預貸金残高 >

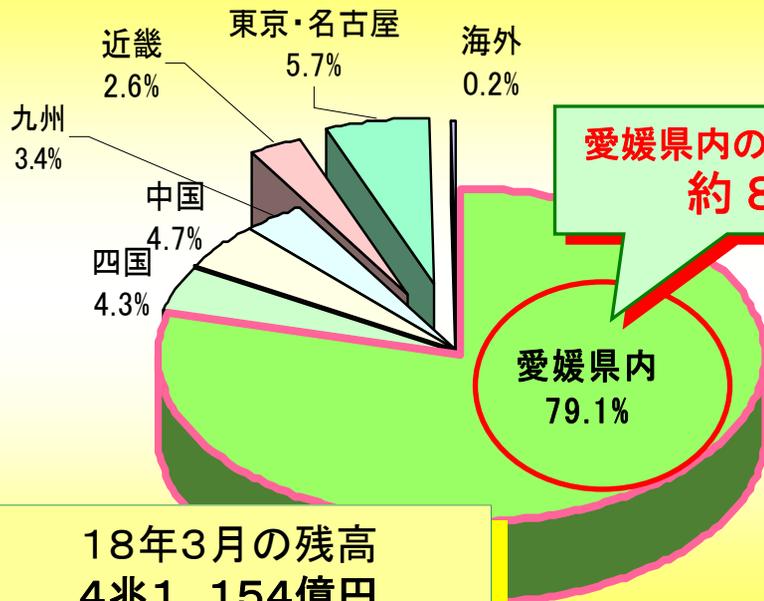
(億円)

	18/3		
		前年度比	増加率
預金等残高	41,154	+ 1,609	+ 4.1%
うち個人預金	26,668	+ 136	+ 0.5%
貸出金残高	30,421	+ 1,639	+ 5.7%
うち個人融資	7,771	+ 471	+ 6.5%

ご預金の状況

- 愛媛県内のお客さまのご預金が約8割を占めております
- おかげさまで、愛媛県内のシェアは5割を超えております

< 預金等残高 地域別構成比率 >



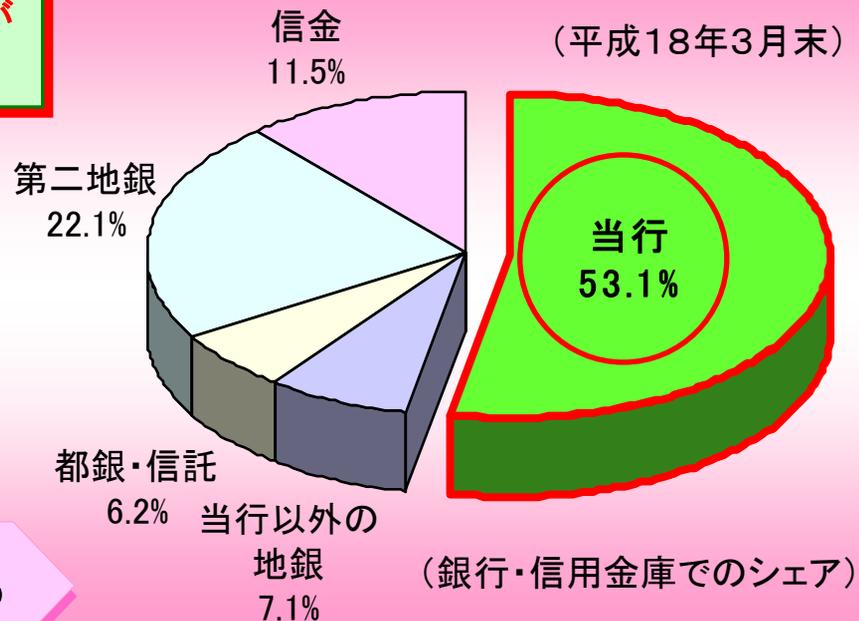
愛媛県内のお客さまが
約8割

愛媛県内
79.1%

18年3月の残高
4兆1,154億円
(前年比1,609億円増加)

シェアは約53%

< 愛媛県内シェア >

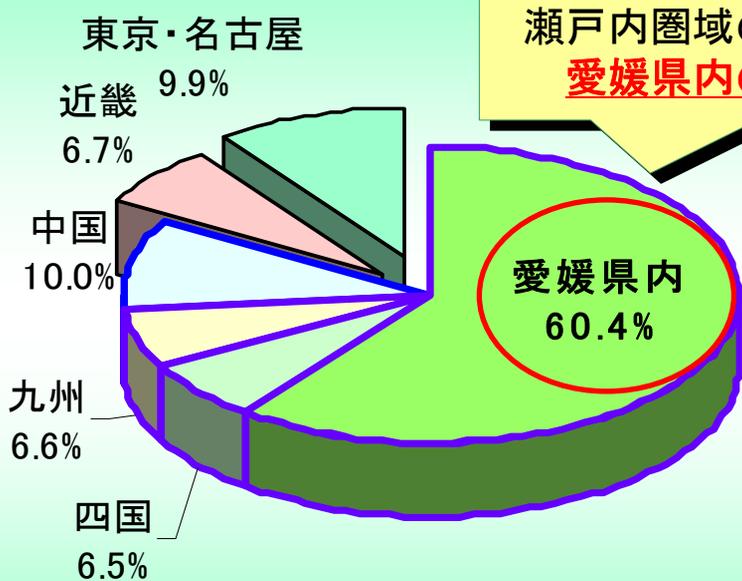


ご預金は皆さまからいただく「ご信頼のバロメーター」と考えております
引き続きご愛顧のほど、よろしくお願い申し上げます

ご融資の状況

● 愛媛県を中心に瀬戸内圏域のお客さまに広くご利用いただいております
 (約6割が愛媛県内、約8割強が瀬戸内圏域のお客さま)

< ご融資残高 地域別構成比率 >

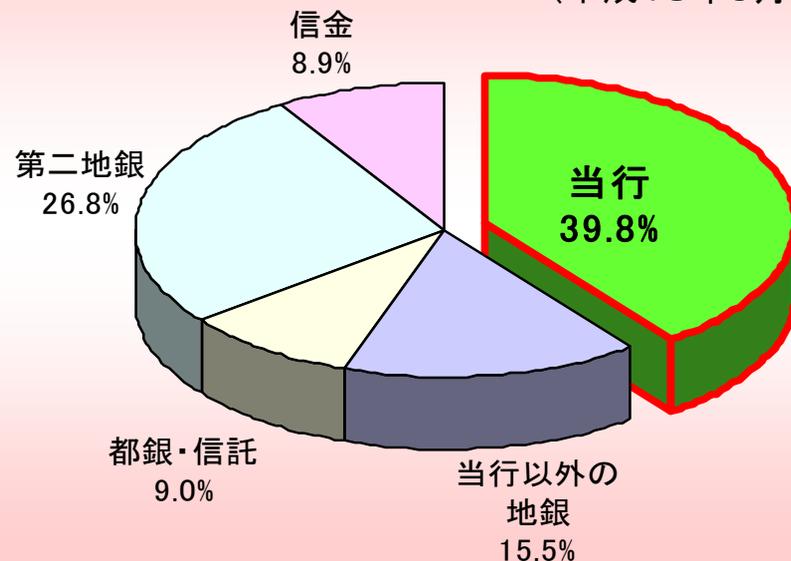


瀬戸内圏域の構成比は約8割強
 愛媛県内の構成比は約6割

シェアは約40%

< 貸出金 愛媛県内シェア >

(平成18年3月末)



18年3月の残高
 3兆421億円
 (前年比1,639億円増加)

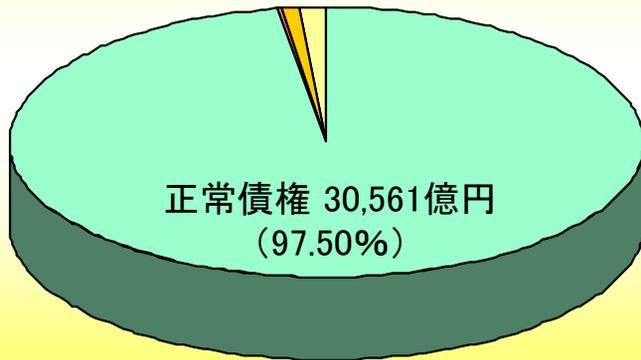
開示不良債権の状況

● 健全性の目安となる開示不良債権比率は、**2%台半ばまで低下**しております
 (残高は前年比190億円減少)

＜金融再生法開示債権の状況＞

(平成18年3月末)

開示不良債権 782億円
 (2.49%)



＜開示不良債権に対する保全率＞

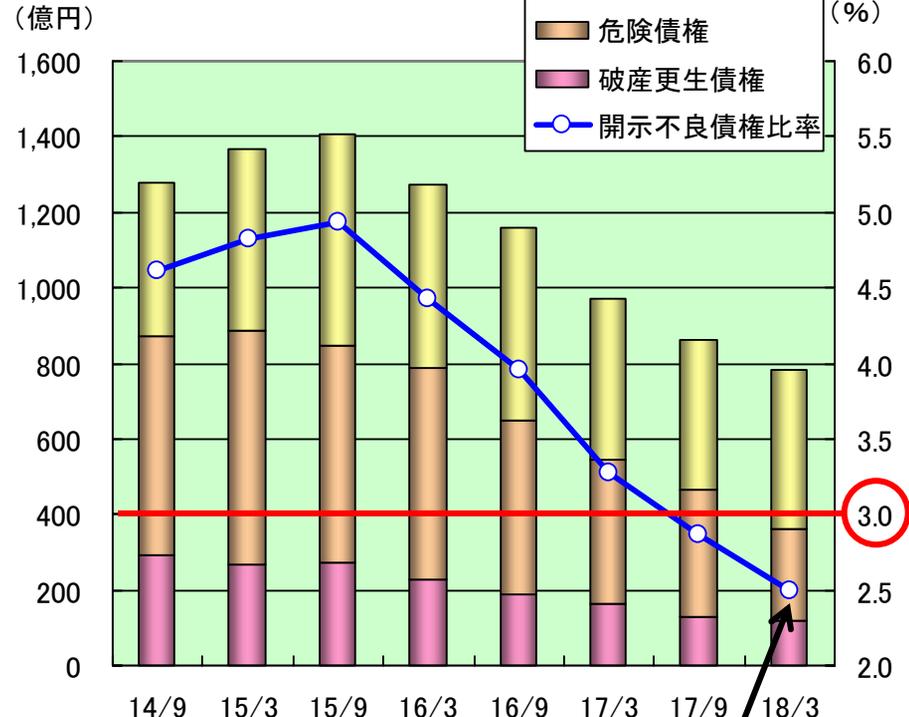
保全率 84.08%

貸倒引当金
 258億円

担保保証等
 399億円

開示不良債権残高782億円

＜開示債権額・比率推移＞

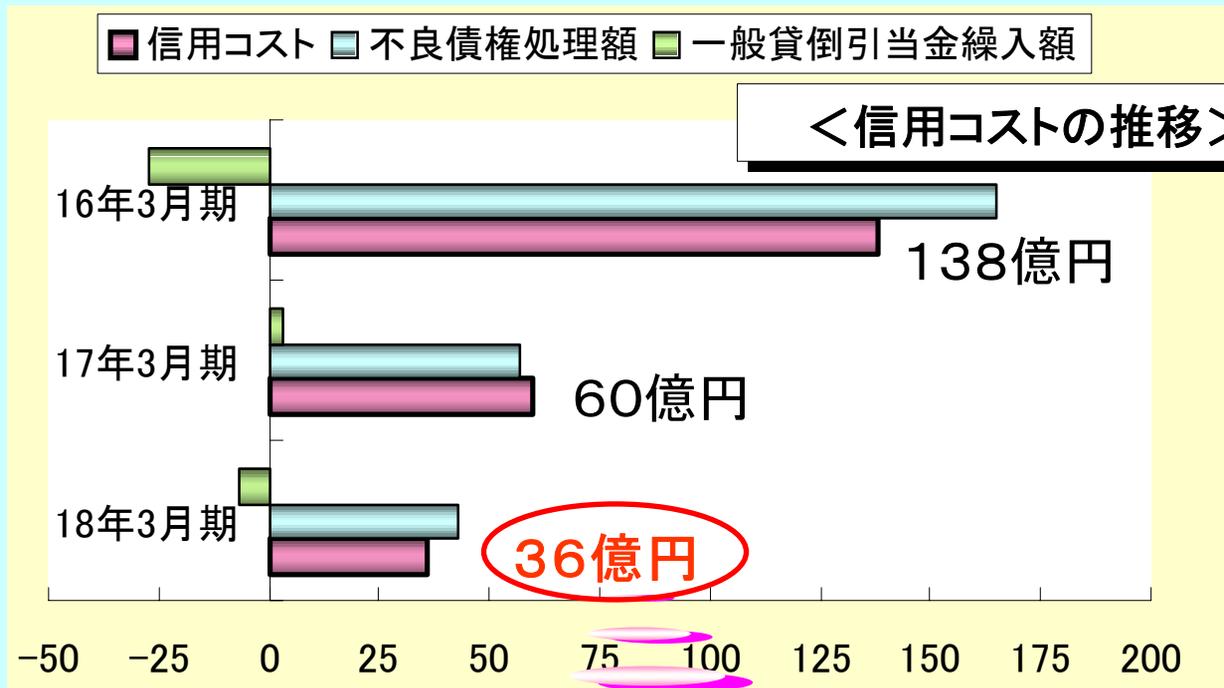


開示不良債権比率 **2.49%**
 (地銀平均4.70%)

信用コストの状況

● お取引先さまの経営改善のご努力により、
信用コストは一段と減少しております

※信用コストとは … 貸出の引当・償却等、不良債権処理に伴い発生する損失です
(一般貸倒引当金 + 不良債権処理額)

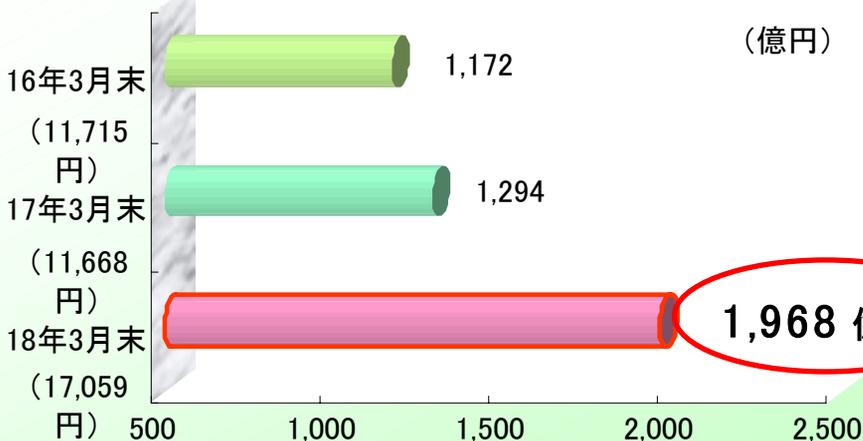


費用であるため少ない方が良い

有価証券評価益および自己資本比率の状況

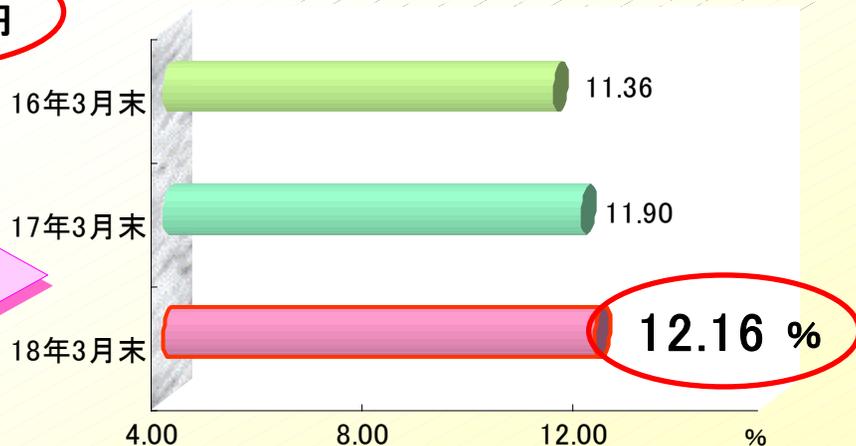
- 有価証券評価益・自己資本比率ともに高水準を維持しております

(日経平均株価) <有価証券評価益の推移>



地銀トップクラスの含み益

<自己資本比率(連結)の推移>



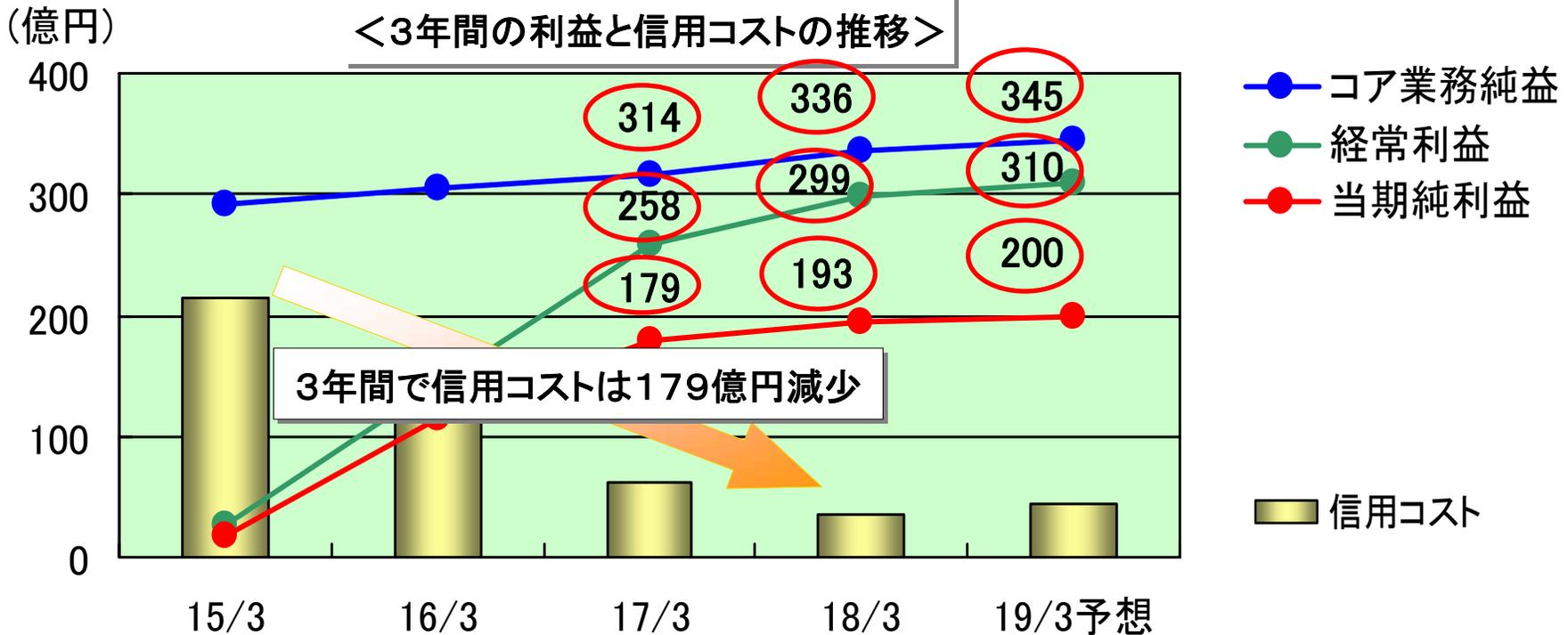
国際基準の8%を十分にクリア

地銀トップクラス

高い健全性が評価され、外部格付「AA-」を取得いたしました

利益の推移

- コア業務純益・経常利益・当期純利益ともに**過去最高**となりました
- その要因は**信用コストの大幅減少**によるものです



配当の推移

16/3期
5.0円

17/3期
6.0円

18/3期
7.0円

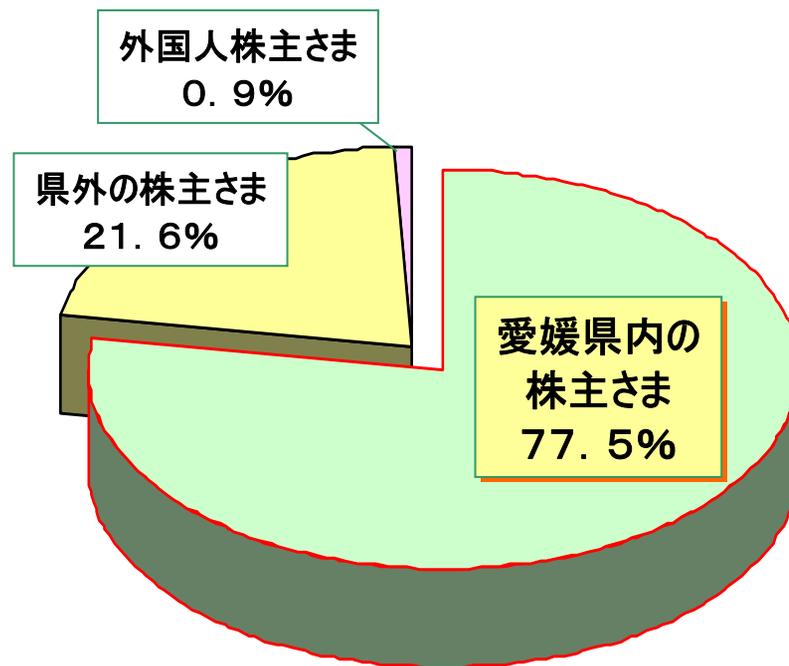
19/3期
7.5円(予定)

- ◇ 過去最高益を受けて、増配いたしました
- ◇ さらに今期(中間期)は記念配当を実施する予定です

株主さまの状況

● 約8割が愛媛県内の株主さまです

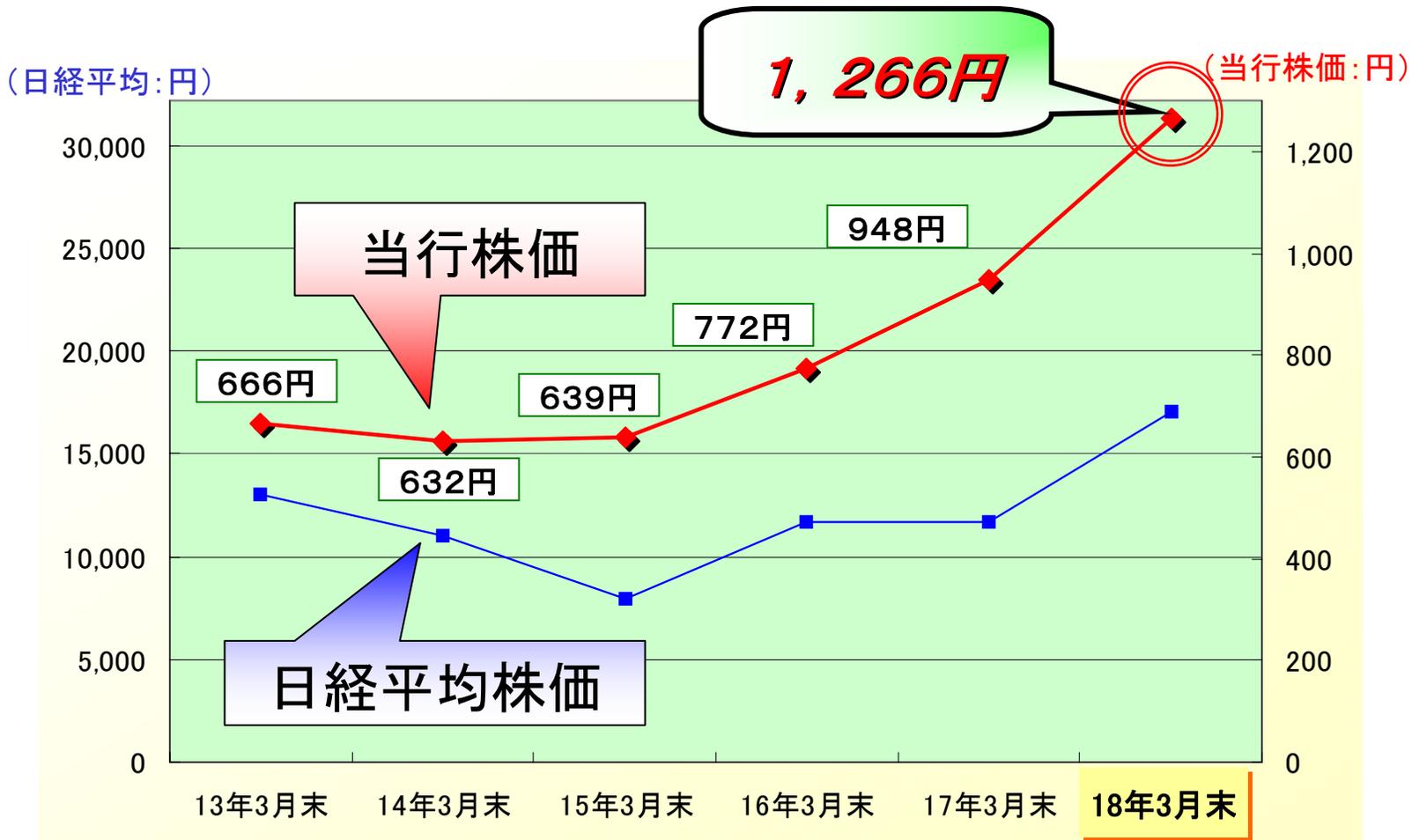
< 株主さまの構成比 >



18年3月末の
株主さま
15,803先

当行株価の推移

● 当行株価は、堅調に推移しております





今後の経営の方向について

伊予銀行の経営方針

伊予銀行 企業理念

存在意義 潤いと活力ある地域の明日を創る

経営姿勢 最適のサービスで信頼に応える

行動規範 感謝の心でベストをつくす

目指す銀行像

親切で頼りがいあるベストパートナーバンク

経営の基本姿勢

「地域志向」「お客さま志向」の経営

健全性確保と収益力強化による経営体力向上

絶え間なき変革への挑戦

2006年度中期経営計画

～ 企業価値向上への挑戦 ～

● 五つの戦略カテゴリーにより「企業価値のさらなる向上」を目指します

【戦略カテゴリー】 収益力の強化

- ◇ 営業態勢の強化
- ◇ 法人預貸金取引の強化
- ◇ 個人預貸金取引の強化
- ◇ 積極的な有価証券運用
- ◇ 非金利収益の増強
- ◇ 新商品・新サービスの提供強化

【戦略カテゴリー】

経営管理・財務の変革

- ◇ コンプライアンス態勢の強化
- ◇ 内部管理態勢の高度化
- ◇ リスクテイク能力のさらなる向上
- ◇ ステークホルダーの満足度向上

【戦略カテゴリー】

人事・組織の変革

- ◇ 本部組織、店舗・チャネルの再構築
- ◇ 積極的な人材の育成・登用
- ◇ グループ経営の推進
- ◇ 新しいビジネスモデルへの積極的な対応

企業価値の
さらなる向上

【戦略カテゴリー】

コスト最適化への変革

- ◇ 信用コストの安定化
- ◇ 経費の効率的運用

【戦略カテゴリー】

ITの戦略的活用

- ◇ IT化による利便性・安全性の向上
- ◇ 業務効率化の推進

2006年度中計 数値目標

<平成18年4月～平成21年3月>

● 「企業価値のさらなる向上」を目指してまいります

基本目標	18/3 実績	21/3 目標
コア業務粗利益	783億円	830億円以上
コア業務純益	336億円	390億円以上
当期純利益	193億円	220億円以上
ROE比率	7.92%	7.5%以上
総資産残高	4兆7,089億円	5兆円以上

管理項目	18/3 実績	21/3 目標
新規融資事業所 開拓先数	(2年間で) 6,600先	10,000先 以上
OHR比率	57.0%	55%以下
不良債権比率	2.49%	2%以下
連結 自己資本比率	12.16%	13%以上

(注)OHR比率 … 経費／業務粗利益×100(※ 業務粗利益は、国債等関係損益を除く)

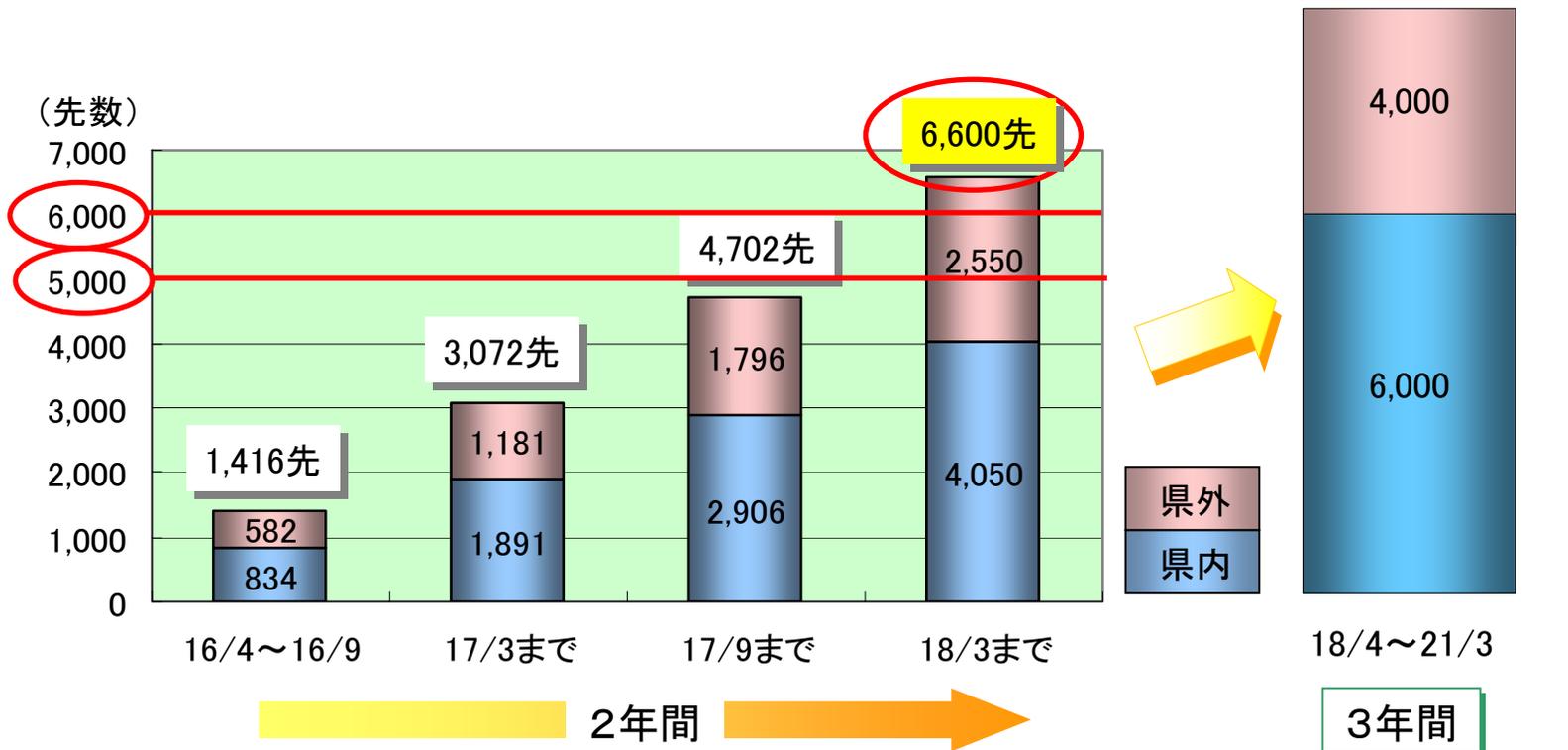
ROE比率 … 当期純利益／期首・期末平均自己資本(除くその他有価証券評価差額金)×100
(株主資本から株式等の含み益を除いたベース)

皆さまのお役に立つために

新規事業所「10,000先運動」を実施してまいります

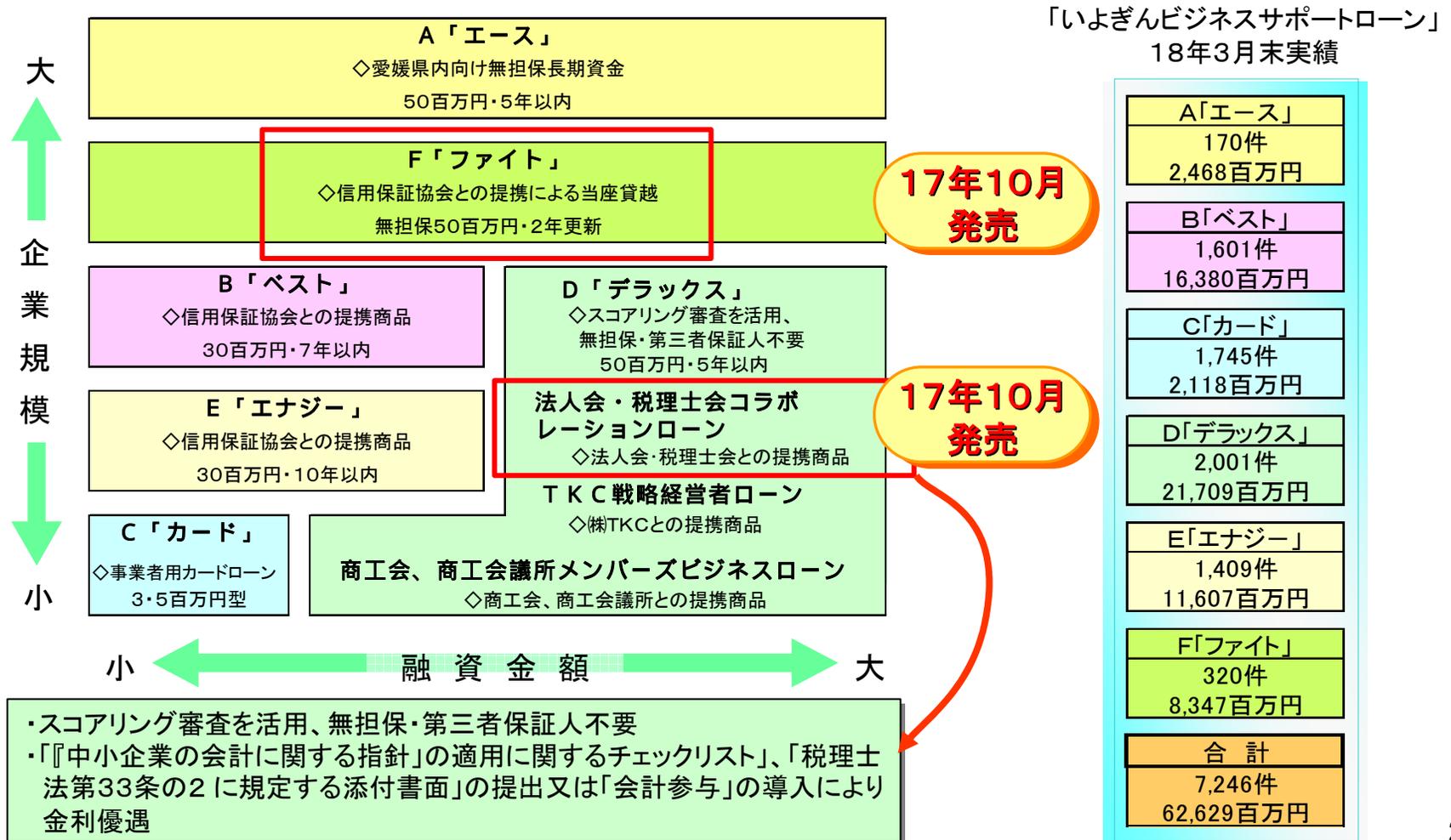
- 2年間の「5,000先運動」で、**6,600先さま**とお取引をはじめていただきました
- **これからの3年間で「10,000先」の皆さまとお取引開始を目指します**

「新規融資取引開始事業所の推移」



皆さまのお役に立つために

多彩な商品ラインナップでお客様のニーズにお応えします



皆さまのお役に立つために

さまざまなご相談にお応えいたします

ビジネスマッチング業務

ニーズ対応と
シーズ発掘

- 広域店舗網を活用した情報の受発信
- 16年4月～18年4月の登録件数
累計2,223件、ご成約件数累計 242件
(うち直近6ヶ月で88件のご成約)

～ お探しの情報が伊予銀行にあります ～

創業・新事業支援業務

インキュベーション
機能の発揮

- 「いよベンチャーファンド1号投資事業有限責任組合」
- 17年12月「いよベンチャーファンド2号投資事業有限責任組合」を追加で設立(1号と合算で10億円)
- (1号と2号の合計実績:14件385百万円)

～ 地域銀行ならではのお手伝いをいたします ～

M&A業務

事業の承継・
再構築をサポート

- 本部専門スタッフ2名を配置しております
- お客さま向けセミナーを開催し、ご好評
いただいております
- 18年4月末までの情報収集件数
(売情報64件、買情報188件)

～ 伊予銀行におまかせください ～

医療・介護支援業務

新規医院開業支援
各種相談・情報提供

- 専門スタッフ2名による本部渉外を実施しております
- 医療コンサルティング会社との連携による機能強化
- 愛媛県内病院総点検運動によるニーズの発掘へ
- 医療・介護報酬セミナーの開催
(約400人にご参加いただくなど大変好評です)

～ ぜひ一度ご相談ください ～

皆さまのお役に立つために

さまざまなご相談にお応えいたします

確定拠出年金

制度導入のサポート、
運用商品の提供

- 本部渉外による導入コンサルティングを実施（企業型）
- 18年4月末実績
企業型：33社、加入者数 約2,000名
個人型：約2,600名

～ お近くの伊予銀行にご相談ください ～

インターネットバンキング業務

- 17年8月の取扱開始から1年足らずで約1,600先のお客さまにご契約いただき、ご好評をいただいております
- ご契約料は「無料」です
- インターネットに接続できる環境があれば、お気軽にお申込みいただけます
- 政府が推奨する「電子納税」に対応しております
- お得で便利なフリーダイヤルで、パソコンの操作方法をサポートいたします

信託業務

信託の仕組みを利用した
ニーズへの対応

- 公益信託
 - 「池田育英会トラスト」
 - 「社会福祉奨学基金」
信託による奨学金制度をお取扱しております
 - 「愛媛県災害ボランティアファンド」
大規模災害発生時に復旧活動に携わるボランティアを支援する制度をお手伝いします
- 相続関連業務
 - 遺言信託
 - 遺産整理

相続に関してお手伝いいたします

～ ぜひご相談ください ～

新種業務

多様化するニーズへ
積極的に取り組みます

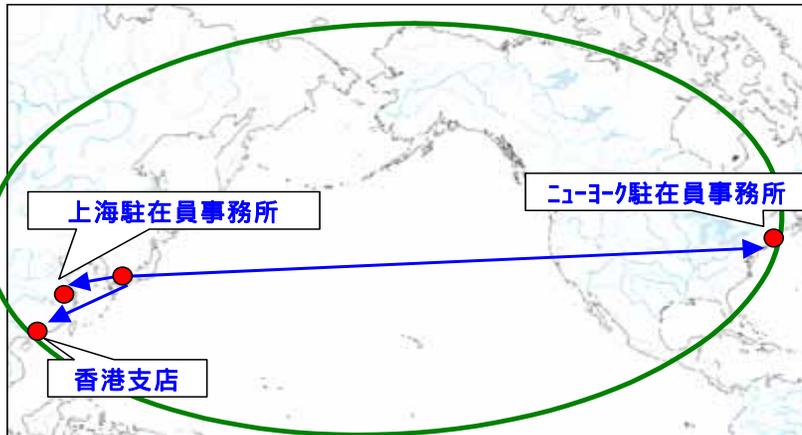
- シンジケートローンの組成業務
- 債権・不動産の流動化業務

～ さまざまなご要望にお応えします ～

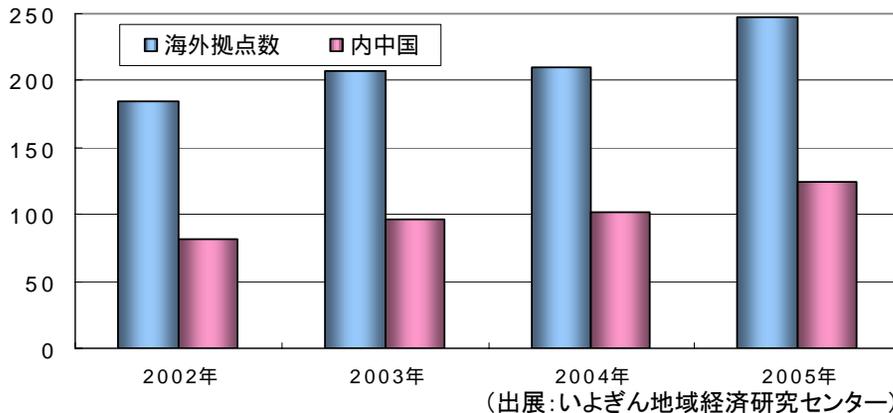
皆さまのお役に立つために

国際化のお手伝いをいたします

○海外拠点ネットワークを活かした支援体制



○愛媛県内企業の海外進出先数



○貿易投資相談

- ◇ 地域国際化ニーズのご支援
- ◇ 専門スタッフによる貿易取引・海外進出ご相談
- ◇ 海外拠点による調査、情報提供

○中国ビジネス支援

- ◇ 中国に関するご相談は「中国デスク」が承ります
- ◇ 中国との貿易取引、現地法人設立、財務、税務 など
- ◇ 上海駐在員事務所・香港支店による商談立会い、取引先のご紹介
- ◇ 中国開発区、工業区による個別相談会
- ◇ 中国広州交易会へ商談ミッションの派遣

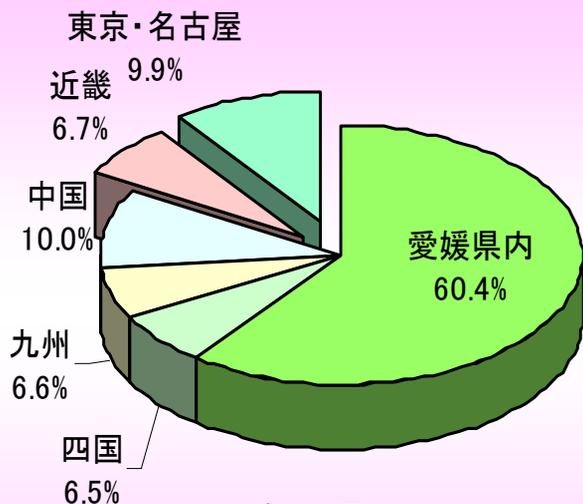
皆さまのお役に立つために

愛媛県を主体とした
瀬戸内圏域でのご融資計画を策定いたしました



広域店舗網を積極的にご活用ください

<貸出金残高 地域別構成比率>



18年3月
3兆421億円

<3年間の貸出金増加計画>

(単位:億円)

	2006年度 中計 増加目標
総貸出金(国内)	3,000
一般貸出金	3,000
うち瀬戸内圏域	2,700
うち愛媛県内	1,300
地公体向貸出金	0

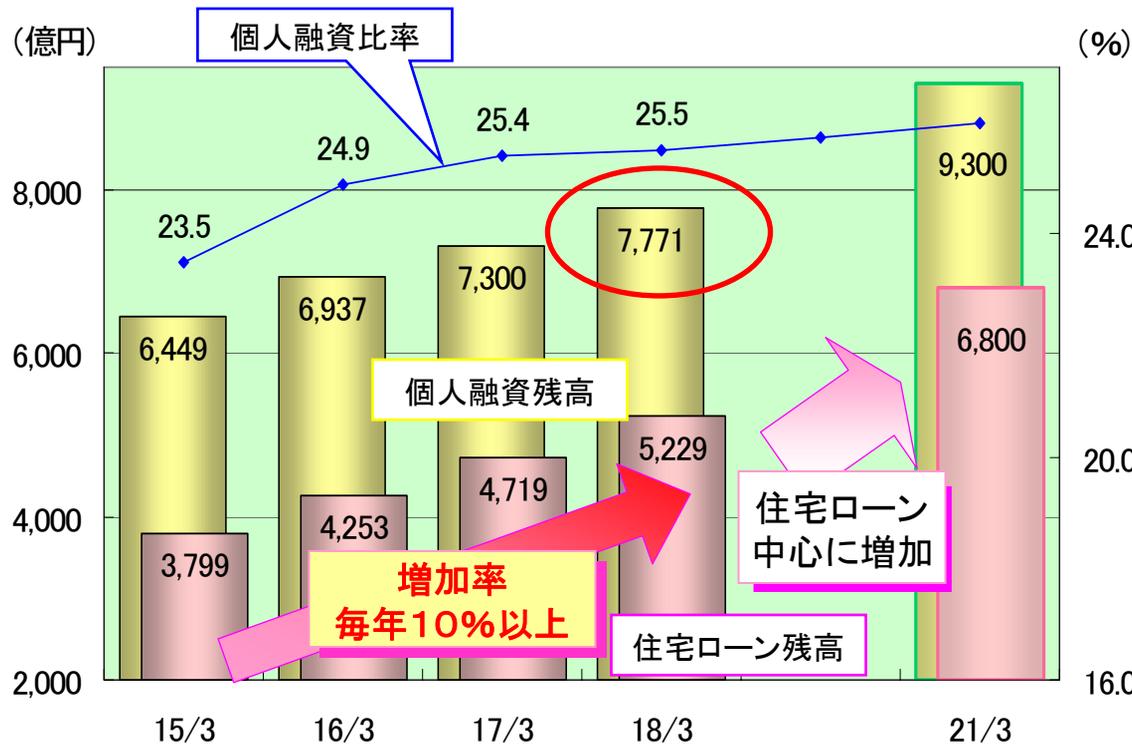
3年間で貸出金残高 3,000億円増加
うち90%を瀬戸内圏域で増加いたします

皆さまのお役に立つために

ご利用いただきやすい住宅ローンをご提供いたします

● 住宅ローンが好調に推移し、**個人融資残高7,771億円**と大きく増加しております

＜個人融資・住宅ローン残高、個人融資比率の推移＞



住宅ローン

皆さまのご利用により、**毎年10%以上の高い増加率**

～ 伊予銀行の住宅ローンが～
皆さまから選ばれる理由

- 家具・外構工事・引越し費用まで「まるごと」ご利用いただけます
- 「ローンプラザ」を愛媛県内7か所に設置しております
- 事前審査申込制度、翌日回答などのクイックレスポンス体制を整えております

「まるごとリフォームローン」
お取扱い開始(18年5月～)

- リフォームの資金もおまかせください

お客さま・そして住宅業者の皆さまからも
大変ご好評いただいております。

皆さまのお役に立つために

ご利用いただきやすい商品を取りそろえております

 伊予銀行のローンをどうぞご利用ください

教育ローン

伊予銀行の教育資金は大変便利・お得です

- 全国的にも最低水準の金利をご提供しております

マイカーローン

お車の資金のご相談はいよぎんへ

- 今なら1%の金利優遇と、抽選でドラム缶1本分のガソリンをプレゼント

「Wでうれしい
キャンペーン」実施中

しあわせ家族

幸せづくり、ゆとりづくりのお役に立ちます

- お子さまが2人以上いらっしゃる方には「子宝ローン」、ご婚礼・ご出産費用には「メモリアルサービス」

金利キャンペーン実施中

カードローン

いつでもご利用いただける便利なローンです

- さっとカードローン、ほっとカードローン 他 各種取りそろえております

急な出費に
お役に立ちます

フリーローン

- いろんなローンのおまとめにもご利用いただけます

介護サポートローン

- 高齢者や障害者の方の介護をお手伝いします

7/13からお取扱開始

皆さまのお役に立つために

預り資産(国債・投資信託・年金保険)商品を充実してまいります

- 資産運用ニーズにお応えできる商品ラインナップを取りそろえております
- おかげさまで **投資信託残高は前年度比3.7倍と好調に増加しております**

預り資産は、残高・収益ともに好調に増加 (3年間で残高2,222億円増加)

(億円)

<預り資産残高推移>



大変ご好評をいただいております

投信・年金保険の新商品を追加いたしました

- ◇ 投信 33ファンドを取扱中
投信3ファンド追加(18年5月)
- ◇ 年金保険 合計9種類を取扱中
新商品の追加投入を予定

預り資産の営業態勢を整えてまいります

- ◇ お客さま投資セミナーを開催しております
- ◇ 「金融商品アドバイザー」全店260名体制へ
- ◇ 行員向け研修の強化を実施しております

定期預金と投資信託・外貨定期預金を組み合わせた「いよぎん幸せパック」のお取扱い

- ◇ 金利上乘せキャンペーン(18年3月~5月)
- ◇ 道後温泉宿泊券が当たる「坊っちゃん」100年記念キャンペーン(18年6月~9月)

皆さまのお役に立つために

各種商品により皆さまの大切なご預金をお預りいたします

主なご預金商品

◇ その他にも各種商品を取りそろえております ◇

坊っちゃん自由定期	6か月経過後は引き出し自由で、お預入れ期間に応じて金利がアップ
マドンナ長期定期	3年から5年の長期間の有利な運用のために
教育積立預金「愛情」	教育資金を計画に積み立てるご預金で、早期にご契約いただけるほど有利な金利に
外貨預金	米ドルやユーロ等の外貨による資産運用
シルバー賛歌	当行で年金をお受け取りいただいております方に金利アップ
無利息普通預金	預金保険制度によりペイオフ解禁後も全額保護が継続される決済用預金
点字預金	目のご不自由な方に点字でご預金残高やご契約内容をお知らせ

道後温泉宿泊券が当たるキャンペーン商品

坊っちゃん100年記念定期

「いよぎん幸せパック」は
キャンペーン中
～ ぜひご利用ください ～

地元ゆかりの小説「坊っちゃん」誕生100年を記念した「坊っちゃん100年記念定期」は大好評につき完売となりましたが、引き続き「道後温泉宿泊券」を進呈する「いよぎん幸せパック」をキャンペーンしておりますので、ぜひご利用ください。

皆さまのお役に立つために

居心地の良い店舗づくりを目指してまいります

居心地の良い店舗づくりへ向けて

- 最適な店舗網の再構築を目指します
- 戦略店舗を配置してまいります

- 個人特化店舗
- 相談機能強化型店舗 等

- ご相談いただける店舗レイアウトの改善を実施してまいります

- 愛媛県内91か店に
「ご相談専用ブース」を設置

県内店舗に「ご相談専用ブース」を設置



皆さまのお役に立つために

地銀で初

個人のお客さまの

当行内支店間の振込手数料を無料化いたします

● 伊予銀行がこれまで以上に便利にご利用いただきやすくなります

- 個人のお客さまが当行のATMで当行のキャッシュカードを利用したお振込
- 個人のお客さまのインターネットバンキング・モバイルバンキングを利用したお振込



7/18から
お取扱開始

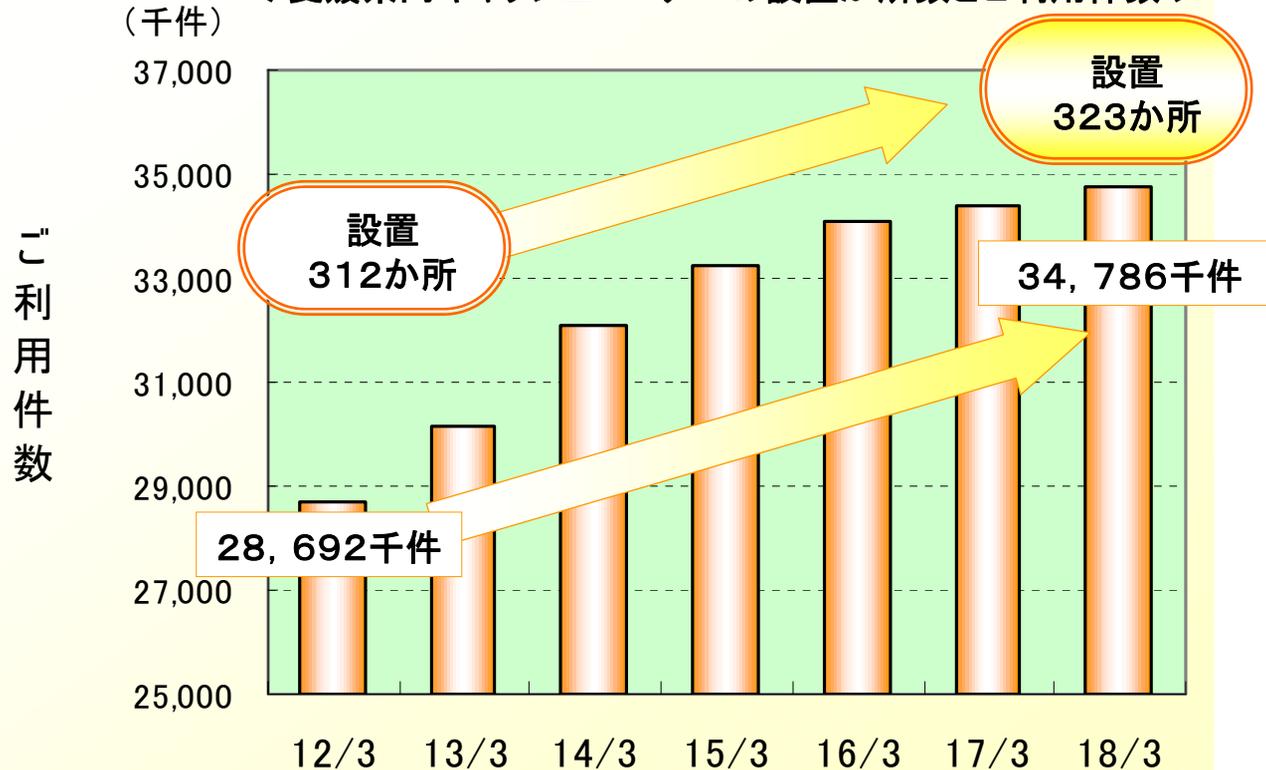
地方銀行で
初の取組みとなります

皆さまのお役に立つために

ご利用いただきやすいキャッシュコーナーを設置してまいります

- 愛媛県内に充実したキャッシュコーナー網を整備しております
- キャッシュコーナーの営業時間を103か所で延長いたしました(18年2月～)

＜ 愛媛県内キャッシュコーナーの設置か所数とご利用件数 ＞



視覚障害者の方々にご利用いただけるATM設置をすすめてまいります

皆さまのお役に立つために

大切なご預金をお守りする取組みをつづけてまいります

● ICキャッシュカードの導入へ向けて準備をすすめております

- 暗証番号変更機能のATMへの搭載 12年12月～
- 遮光フィルターの設置 16年7月～
- カード暗証番号による窓口での本人確認開始 16年9月～
- 「おれおれ詐欺注意喚起メッセージ」のATMへの表示 16年10月～
- 「カードご利用限度額」の設定(1日200万円) 17年2月～
- 「カードご利用限度額」変更機能の搭載 17年4月～
- 異常取引のモニタリング 17年10月～
- 暗証番号のシステムチェック 18年2月～
- ICキャッシュカードの導入へ ～19年2月の導入を目指しております～

地域の皆さまのお役に立つために

本業に基づいた地域貢献活動をはじめ、
さまざまな取組みを実施してまいります

CSRへの取組み(※)

◆ 17年11月に「CSR推進委員会」を設立いたしました ◆

環境

- 頒布品のリサイクル対応を促進
- ハイブリットカー等の低公害車の導入拡大
- 再生紙の利用率アップへの取組み 他

産学官連携

- (財)えひめ産業振興財団との連携
- 愛媛大学と「連携協力協定」を締結
- 「地域ブランド」形成支援を目的とした「中小企業基盤整備機構」との業務提携
- 異業種交流会「フロンティア企業クラブ」への参加
- 「四国産業クラスターサポート会議」への参加 他

商品提供

- 「環境私募債」による企業の環境活動支援
- 「環境グリーン資金」によりISO取得を支援
- 「エコカーローン」による低公害車普及支援
- 少子化問題に対応する「子宝ローン」 他



※CSR(Corporate Social Responsibilityの略)
…「企業の社会的責任」と訳されます

地域の皆さまのお役に立つために

CSRへの取り組み

地域貢献活動

- 「地域文化活動助成制度」
- 「(財)伊予銀行社会福祉基金」
- 経営者育成支援を目的とした「IRCニュー・リーダー・セミナー」の開催
- 道後温泉宿泊券の懸賞付「坊っちゃん100年記念定期預金」「いよぎん幸せパック」を発売
- 男子テニス部・女子ソフトボール部の活動
- 平成29年開催予定の愛媛国体に協賛
- 各種地域行事への参加 他





もっと身近に、
どこよりも親切に。
そして、ずっとお役に立ちたい。
それが私たち
伊予銀行の思いです。

本資料における、将来の業績につきましては、
発表時において入手可能な情報および
将来の業績に影響を与える不確実な要因に
係る仮定を前提としております。
将来の業績は、経営環境の変化等により
異なる可能性があることにご留意ください。